



# 大屋富士

伸びよ 豊かに たくましく

令和8年2月10日  
養父市立大屋中学校  
学校だより 第10号  
Tel 079-669-0111

今シーズンは暖冬と聞いていましたが、思いのほか降る雪に、戸惑いと同時に毎回の除雪に疲労を感じています。除雪の度に、「畑で畝を作れば、畝が形となって残り達成感をしばらく感じることが出来るのですが、気温が上がれば、あっという間に放っておいても自然と融けて無くなるこの雪。あの労力は、頑張った証はどこへ」と思うのは私だけでしょうか。



「雪は天から送られた手紙である」～中谷宇吉郎～\*\*\*\*\*

ご存じのように「雪」は水が冷えて凍ってできたものです。でもいわゆる家庭の冷凍庫で作られる「氷」とはちょっと違います。

雪は上空に浮かぶ雲の中で作られています。雲の内部では水蒸気が大気中の小さな塵や微生物を芯にして集まり、上昇気流によって上方へ運ばれ、氷点下の場所で冷えて固まって「雪」となります。ここに「氷」と大きな違いがあります。

物質は固体→液体→気体または、気体→液体→固体と熱エネルギーによってその状態を変えます。(中学1年で学習します)「氷」はこのプロセス通り、液体の「水」から固体となったものです。

一方、「雪」は水蒸気(気体)から、「水」(液体)の状態をすっ飛ばして、いきなり(固体)となることができるという違いがあります。中学校で習う「昇華」という状態変化ですね。そして六角形の美しい結晶として成長し、地上に降ってきます。



結晶の形は、一つとして同じ形はありません。できる形は水蒸気量が多いところでは枝葉が多い複雑な形になったり、気温によって平面型や柱型になったりすることがわかっています。ですから雪の結晶の形をみると、上空の気象状況がわかるわけです。

「雪は天から送られた手紙である」世界で初めて人工雪の制作に成功した物理学者、中谷氏の言葉です。

雪の結晶一つとっても、育つ環境によって違ってくるのだと改めて感じるのです。



# 清掃研究会

1月13日(火) 3学期の清掃に向け、新しい清掃班のリーダーを中心に、清掃場所の確認

や清掃計画を立てました。以前、海外のある学校を見学させてもらったことがあるのですが、学校の掃除は業者が入っていて生徒は掃除をしていませんでした。そのせいかどうかはわかりませんが生徒たちは廊下等にゴミを捨てることにあまり頓着してなかったように見えました。使った場所を自らがきれいにする。昔からの日本の良い教えです。



# 避難訓練

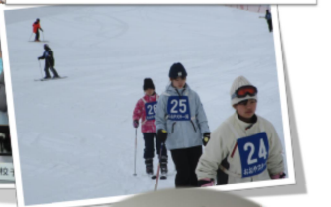
1月16日(金) 地震を想定した避難訓練と防災集会を行いました。昨年末から頻繁に日本各地で大きな地震が発生しており、あらためて地震はいつでも日本各地あらゆる所で起こりうることなど、阪神淡路大震災の教訓をもとに話をしました。加えて、時間帯によっては、この大屋地区では中学生は守られる存在であると同時に頼られる存在であることも伝えました。素早く、整然と避難する姿に、頼もしさを感じました。



# スキー教室

1月23日(金) 1, 2年生が若杉高原スキー場に行きました。

それまでの大雪で実施について心配しましたが、当日は天候に恵まれ、雪質も良く最高のスキー教室となりました。ボランティアで指導していただいた皆様、レストラン樹之深さん、大変お世話になりました。



# 百人一首大会



それぞれの学年で百人一首大会を開催しました。百人一首は古文の単語を覚えたり、文法を学ぶのに有効だとか。カードゲームはやってても普段はなかなか手にすることのない百人一首。この季節ならではの日本の伝統的な遊びから学ぶ楽しい時間となりました。